

●明るいシステム倶楽部の今後の動き

- ・今月は17日(火)に「第65回明るいセミナー」を開催いたします。認証予定企業は、最近目にすることもある「サービスロボット」の開発等、泉州においてロボット産業を展開する先進企業を是非ご紹介したいと思っておりますので、奮ってご参加ください。
- ・先月から当倶楽部の新企画「輝く未来の宝探し」に取り組み、「日本一明るい経済新聞」を活用し、明るい企業を積極的に発掘しようという試みをスタートしました。

●目が離せない世界と国内の政治情勢

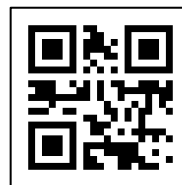
- ・海外ではウクライナ戦争やパレスチナ紛争が一向に収まる気配がない一方、今月は国内において自民党総裁選挙を皮切りに、今後の日本を舵取りする政権が発足します。いずれにせよ、大胆な変革を厭わず、責任感のある政権運営を期待したい処です。

●パリパラリンピックの開催(8月29日～9月8日)

- ・8月下旬から始まったパリパラリンピックも、誰もが楽しめるスポーツになりつつあり、対立や分断が蔓延する世界を少しでも緩和する役割を担ってほしいものです。
- ・世界の人々が貴重な共通体験や国際交流等を通じて、相互理解を深める努力は無駄ではなく、更には文化の側面が重要な価値を占める時代になってほしいと思っております。

< 9月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 9月号
- ② ビープラッツプレス 最新号
- ③ 年会費納入のお願い(該当者には別途郵送の予定です。)



明るいシステム  
倶楽部  
ホームページ

< 9月の主な活動予定 >

9/7(土)	気楽な ZOOM サロン(45)	当倶楽部会員専用の交流の場です	20:00～21:30
9/11(水)	役員会議(50)	「明るいセミナーの今後について」	14:00～15:00
9/11(水)	明るいシステム検討会議(33)	「明るいシステム」の整理・分析	15:20～16:20
9/13(金)	「輝く未来の宝探し」(2)		20:00～21:30
9/17(火)	<b>第65回 明るいセミナー</b>	大阪産業創造館4階イベントホール	14:00～16:30

AKS 市民大学 (ZOOM 形式)

9/11(水)	菊池教室(44)	感性を育む和学講座「月見と重陽の節供」	20:00～21:30
9/24(火)	柴原・松居教室(37)	「テーマ; 未定」	20:00～21:30
9/28(土)	宮崎教室(48)	「言葉の力で問題を解決！」	20:00～21:30

## 「地域での交流・コミュニケーション」第2弾

明るいシステム倶楽部会員 黒田 能弘 (くろだ・よしひろ)

自らの前向きな地域参加は、挨拶を交わす知人が増え、時には知り合った方々と一杯やったりしています。また地域にはこんなにも子どもたちがいることに気づきます。夏休みに入ったある日、「子供太鼓」なる祭りの稽古が始まっていました。

当日、小生にも法被ハッピやら頭に締める手ぬぐいが配布され、いっちょ前に祭りを盛り上げる組に入り、子ども（小生にとって孫かひ孫のような存在）たちと一緒に、氏神さまである生国魂神社（谷町9丁目）まで、巡行してまいりました（今まではまったく関心がなかったのですが・・・）。

そして、時には小さな社会貢献として、近くの中大江公園での清掃参加です。

女性陣は、草むしりや花壇の水やり、男性陣は、数力所ある排水溝の泥水の排出です。これが結構な重労働で、年寄り男性が交替しながらスコップやら鍬のような道具を使い、泥水を運んだりします。「地域の底力」にしたいとの声が大きくあるのを知り、翌日には、筋肉痛になりました。

小生にとっても、いい汗をかき、内容のある夏休みとなりました。写真は、それぞれ行事の活動記録です。今回は、（ひとり言）というより、写真が中心となりました（笑い）。

\*写真の赤いジャケットの方は、近くの郵便局にお勤めの元気なシニアで、これもボランティア!?



「生前活!アドバイザー」 兼 NPO法人高齢者・障がい者後見人の会 代表

◆西国三十三所札所巡り旅 (25)

西国 第 23 番札所 勝尾寺

応頂山 勝尾寺 (大阪府箕面市)

本尊：十一面千手観世音菩薩

明るいシステム倶楽部会員：阿久根芳臣

行程：大阪市内から 25 km (梅新東～新御堂筋～府道 9 号～茨木能勢線～勝尾寺の看板有)

大阪の真北に位置し、標高四百メートルを超える山中にある。車の渋滞を避けて行ければ 30 分ほどで往ける身近なお寺だ。境内には一千本のカエデがあるといい、紅葉の名所としても名高い。紅葉のころにはドウダンツツジなども咲き誇り全山が一斉に色づくさまは圧巻だ。自然に恵まれた勝尾寺は、紅葉の季節に限らず、早春のツバキ、陽春の桜、新緑のシャクナゲ、アジサイなど四季の花々が楽しめる。箕面方面からのハイカーも多い。

勝尾寺はもと、<sup>みろくじ</sup>弥勒寺 と号していたが、六代座主・<sup>ぎょうじゆん</sup>行巡 の時、<sup>せいわ</sup>清和 天皇が病となりその平癒祈願のため宮中へ参内するように命じられたが、ちょうど修行中であった為、「山中にこもったまま祈祷する」と行巡は宮中への参内を断ったものの天皇の病気は治った。そこで清和帝は自ら寺を訪れて王に勝つ寺「勝王寺」の寺号を授けたという。その後、寺では王の字を自ら控えて「尾」の字をあてて、勝尾寺と号するようになったという。

その名の由来から勝運の寺としても有名になり源氏、足利氏らの武将も戦勝祈願したといわれ、今でも全国から勝運を願う参拝者が後を絶たないという。お寺から祈願だるまを授与され、勝利のあかつきには「勝ちだるま」を奉納する。入試やスポーツの勝利、病気平癒はもちろんの事、商売繁盛を願う人たちも多い。境内のダルマ奉納棚には、その勝運成就した「勝ちダルマ」が所狭しと奉納されている。お正月にはすごい人出で賑わう。

寺は 1184 (元暦元) 年、源平の内乱で焼失したが、清和源氏の流れをくむ源頼朝が再興したもので、現在残っている薬師堂は頼朝の建立とされている。箕面国定公園の中心に位置する広い境内の山腹には多くの堂宇が点在しており、大師堂の周りには四国八十八か所お砂踏みもある。

勝尾寺の背後に鎮座する最勝ヶ峰の山頂に、この寺を開いたとされる<sup>こうにん</sup>光仁 天皇の皇子・開成の廟所があり、また浄土宗の開祖である法然上人が晩年の四年間を過ごした二階堂があり、法然上人第五番霊場にもなっている。

仁王門からお浄め橋を渡る

八万坪の山腹に境内が広がる

参拝客で賑わう正月の本堂



## < ケンカの仲裁 — 2 >

明るいシステム倶楽部 理事 宮崎 英二

(受講者のひとり／加藤タケシさんの事例紹介)

ケンカの中に入ったタケシさんは、怒りを鎮めるだけでなく、喜びに変える仲裁に成功されました。

さて、その仲裁法とは？・・・

### ◆仲裁の第一段階：「ほめて認めて勇気づけ」の呼びかけ。

『強くてかっこいいお兄さん』この言葉は、自分が人から言っていて欲しかった言葉が聞こえてきたとき、彼のすさんだ心を揺るがせて脳を混乱させます。しかし、怒りの感情はそう簡単に鎮まるわけではなく、「なんだてめえは、わからん奴は来るな」という脅しをかけてきますが、コワモテのお兄さんはこれまでの経験で「もっとほめてくれ」という裏側に翻訳しますので、ひるまずに次の言葉をかけていきます。

### ◆第二段階

『お兄さんは本当に強いのですよね。まわりの人たちが5人くらいかかっていってもぶっ倒してしまうでしょうね』\*暴力に訴える人は、過去に暴力と脅しを受けてきた経験がそうさせているので、弱いとか負けることを極端に嫌います。だから『強い!』とか『格好いい』という形容詞に心が揺れるのです。

\*コワモテ兄さんは、まだ相手のお兄さんの胸ぐらをつかんで、威嚇のポーズをみせていますが、殴ると暴力事件になることを知っている。

『お兄さんみたいな大物は、誰が来ても怖くないでしょうね。そんな強い人がふつうの人を相手にするのですか』\*大物という言葉は心を広げる力があります。心が広がると、脳の働きは正常な活動に戻り、暴力はいけないこと、刑事事件になる・・・ということを考える余裕が生まれます。

\*そうこうしている内に振り上げていた腕は下に降ろし、胸ぐらの手もゆるめて、こちらの言葉を聞く姿勢に変わってきます。

### ◆第三段階

『ほら、あっちはもうお兄さんの迫力にビビり上がってるじゃないですか。お兄さんの大物ぶりが怖くてふるえているんだよ』 『お兄さんのすごい迫力に、あそこにいるみんなもまいっちゃってるよ』

\*コワモテお兄さん、すっかり落ち着いてきて、

『いや、最初から殴ろうなんて思ってなかったけど、こいつが生意気なことをいうから腹が立ったんだ』  
(この場をどう収めようかと考え始めた様子です)

### ◆第四段階

『そうなんでしょうね。初めから本気でやろうと思ってたらもう大変ですものね』



『おれ、かっときたら止まらなくなるんだ。だからセーブしたつもりなんだ。でもちょっときつく怒り過ぎだよな』さらに『ごめん、ごめん、俺が悪かった』と若いお兄さんに謝るではありませんか。

\*びっくりして見ている私に『ありがとう!』と何故か握手を求めるだけではなく、ケンカ相手のお兄さんにも握手して、ニヤッと笑顔で立ち去りました。これにはイケメン・タケシもびっくりの結末となりました。

ヒューマニクス研究所／ハピネス心理学 代表